

<経済>

タイ自動車市場について

タイでは日本の各自動車メーカーが生産拠点を構えていることもあり、バンコク市内を走る流しのタクシーでさえも年式の新しいものが走っています。高級外車も日本以上に目にする機会が多く、アジア諸国の中では自動車先進国の 1 国であると言えます。



【カシコン銀行本店（BTS ARI 駅）周辺で撮影】

現在のようにタイ国民の多くが車を所有できることとなった背景には、2011 年 9 月から 2012 年 12 月にかけて実施されたファーストカープログラム（インラック前政権時に実施された政策で、100 万バーツ（約 325 万円）以下のマイカーを購入する場合、10 万バーツ（約 32 万 5 千円）を上限として自動車物品税を還付するという制度）の影響が大きいと言われています。下図からも、当該政策が行われていた期間中は車販売台数、生産台数、一人当たり自動車普及台数ともに大きく伸びていることが分かります。

しかし、政策終了後、2016 年は生産台数こそ 2 年連続でプラス（2015 年比 1.6% 増加の 194 万 4, 417 台）となったものの、タイ自動車工場の稼働率は 60%～70% とフル稼働の状態までは、まだまだ遠い状況にあるようです。

	自動車生産台数	自動車販売台数	自動車普及率
2010 年	1, 644 千台	800 千台	158. 93 台/千人
2011 年	1, 457 千台	794 千台	172. 38 台/千人
2012 年	2, 429 千台	1, 423 千台	189. 81 台/千人
2013 年	2, 457 千台	1, 330 千台	206. 40 台/千人
2014 年	1, 880 千台	881 千台	230. 41 台/千人
2015 年	1, 915 千台	797 千台	—
2016 年	1, 944 千台	—	—

出典：OICA

ファーストカープログラムの実施前までは、タイ国内の中古車市場は高値で安定していたようですが、当該制度の実施期間中に無理をして自動車ローンを組んだタイ国民も多く、結果としてローンが払えずマイカーを手放すこととなった購入者も少なくないようです。現在

はその影響で走行距離の短い中古車が多く出回っており、新車よりも中古車を買求める人が増えていることも新車販売台数が伸びない要因のようです。

余談ですが、日本では 10 万キロ走行した自動車は過走行車両として価値があまりないものとして見られることが多いですが、タイでは 20 万キロ、30 万キロ走ることが珍しくなく、10 万キロ程度の走行距離であれば、まだまだ程度の良い中古車として十分商品価値があるとみられています。日本に比べて車の寿命が長いことも、中古車市場の在庫が増えている原因となっているのかもしれませんが。

とはいえ、ファーストカープログラムで自動車を購入した人の買い替え需要が 2017 年中には 3 万台程度あると予想される等、各自動車メーカーの新型車投入による買い替え需要の促進により、タイ国内の自動車産業にも 2017 年の後半あたりから改善の兆しが見えるようになるのではないかとされています。

<社会>

タイにおける日本食レストランについて

タイは日系企業の進出数が多く、タイ国内には 67 千人を超える日本人が在留していると言われています。その影響もあって、タイ国内には 1,800 店舗近くの日本食レストランがあり、バリエーション、クオリティともに周辺諸国より高いものが提供されているように感じます。

また、日本食レストランだけを掲載しているフリーペーパーも発行されており、私の住むトンロー地区には写真のような日本食レストランだけを集めた飲食モールまであります。このように、タイ国内においても、日本食を気軽に楽しむことのできる環境が出来上がっています。



左図の通り 2008 年から 2016 年の間に日本食レストランの店舗数は 3 倍以上に増加していますが、人気店舗とそうではない店舗との差は拡大しており、出店から半年も経たずに撤退する店舗もある等、もはや日本人だけを相手に店舗運営することは難しくなっているようです。一方で、人気店舗ではタイ人客もターゲットにした値段設定、メニュー開発を

	バンコク	地方	合計
2008 年 2 月	625	215	840
2013 年 6 月	1241	565	1,806
2014 年 6 月	1553	721	2,274
2015 年 6 月	1728	891	2,619
2016 年 6 月	1753	960	2,713

タイにおける日本食レストランの推移 出所: JETRO

行っており、日本食レストランとはいいつつもタイ人客数も多く、今後はタイ人が好むような日本食レストランの新規出店が増えていくのではないかと予想されます。

タイ国内の展示会情報 (2017 年 2 月～3 月)

BITEC

名 称	期 間
FESOA ASIA 2017 (印刷機器)	2 月 15 日～2 月 17 日
Used Machinery Fair 2017 (UMF) (中古工業機械)	2 月 22 日～2 月 23 日
Thailand Industrial Fair 2017 (工業機械・装置、技術)	3 月 02 日～3 月 05 日
Food Pack Asia (食品包装資材)	3 月 02 日～3 月 05 日
Thailand International Tackle Show 2017 (釣り用品全般)	3 月 10 日～3 月 12 日
AGRITECHNICA ASIA 2017 (農業用機械、設備)	3 月 15 日～3 月 17 日
Horti Asia 2017 (果物、観葉植物、種苗)	3 月 15 日～3 月 17 日

IMPACT

名 称	期 間
The 59 th Bangkok Gems & Jewelry Fair 2017 (宝石、貴金属、装飾品)	2 月 22 日～2 月 26 日
Thailand International Furniture Fair 2017 (TIFF 2017) (家具全般)	3 月 08 日～3 月 12 日
Travel Thailand Travel World #17 (タイ国内、海外旅行)	3 月 16 日～3 月 19 日
Homepro Expo #25 (家財道具)	3 月 17 日～3 月 26 日
The 38 th Bangkok International Motor Show 2017 (自動車全般)	3 月 16 日～4 月 09 日
The 5 th Print Tech & LED Expo 2017 (印刷、照明機器)	3 月 31 日～4 月 03 日
The 2 nd Garment & Textile Embroidery Expo 2017 (縫製用機械)	3 月 31 日～4 月 03 日